

大学評価研究

第19号

論説

ポストコロナの大学教育 村田 治

寄稿 論文

特集テーマ：「教員の教育力評価の方向性」

特集テーマ設定の趣旨 生和 秀敏
 日本の大学教育の現状と課題—大学教員の教育力とR-T-Sネクサス 有本 章
 大学教員からみた授業改善と学習時間—全国大学教員調査の2時点比較— 小方 直幸
 米国大学のテニユア審査における教育力評価—州立研究大学の事例研究— 福留 東土
 イギリスにおける大学教員の教育力評価—学生視点による評価— 田中 正弘
 大学間連携「FDネットワーク“つばさ”」の12年間の取組 小田 隆治
 大学教員の教育業績評価の方法としてのティーチング・ポートフォリオ 栗田佳代子
 玉川大学における全学的なFDの取組 小島佐恵子

投稿 論文

ドイツにおける高等教育質保証の一側面
 システムアクレディテーション適合大学における外部者の関与を巡って 松坂 顕範

研究ノート

日本の大学における内部質保証システム類型化の試み
 —2018年度第3期認証評価受審大学の
 自己点検・評価報告書及び大学評価結果から— 山咲 博昭・荒木 俊博
 主導的IRによる意思決定支援の実現—日本型大学IRの一提案— 野村 一樹
 ベトナム高等教育における外部質保証と内部質保証に関する考察
 ～ASEAN地域における高等教育質保証システムから得られる示唆～ 林 透
 大学の地域貢献プログラムにおける評価方法のあり方の一考察
 —「地（知）の拠点整備事業（COC事業）」採択校に着目して— 木下由梨枝